

2020年5月11日
FCA ジャパン株式会社

PRESS RELEASE

FCA Japan 販売の勢いを堅持

- FCA ジャパンの4月の販売は1,033台
- 1月から4月の販売は6,990台、昨年と同レベルを維持
- ジープの1月から4月の販売は3,931台、対前年比123%
- FCA ジャパンはこの勢いを新「スキップローン」で持続



Jeep



FCA

FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

FCA ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：ポンタス・ヘグストロム）の取り扱いブランドであるジープ、フィアット、アバルト、アルファロメオの本年4月の合計販売台数は1,033台、対前年比71%となりました。しかし、今年1月から4月までの4か月間では、FCA ジャパンの販売台数は6,990台、対前年比99%を堅持しています。同時期の輸入車市場は対前年比86%である中、健闘しており、この勢いを担っているのはジープブランドです。ジープは第一四半期に3,308台を販売して過去最高を記録し、この1月から4月でも3,931台、対前年比123%と好調を維持しました。

これに関して、社長のポンタス・ヘグストロムは次のように述べています。「この実績は、我々FCA ジャパン、そしてこの厳しい状況下でも営業を継続して下さっている FCA ジャパン正規ディーラー皆様の協力の賜物であり、ありがたく思います。FCA ジャパンは、5月1日より、業界に先駆け、新型コロナウイルス感染症に関連する販売施策として、独自のローン商品「スキップローン」を導入し、5ヶ月間ローンの支払いなしで今すぐ安全な個人モビリティを手に入れる機会の提供を始めました。他方、FCA 取り扱いのジープ、フィアット、アバルト、アルファロメオの4ブランドの正規ディーラーは、お客さまの安全安心なモビリティの維持のために、ワークショップも含め、最善の衛生的配慮をしながら営業を継続しています。我々は今後も協力して、新型コロナウイルス感染症と共生する新たな状況に対応を続けてまいります。」



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE

FCA ジャパン正規ディーラーでの対応について

FCA ジャパン正規ディーラーでは、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい現況下においても、お客さまのモビリティパートナーである愛車を万全にサポートするべく、お客さまとディーラーの従業員の健康、感染拡大防止に最大限配慮しながら業務を継続しております。正規ディーラーでは全てのお客様に安心してご来店頂けるよう、新型コロナウイルス感染症対策として以下の対応を実施しております。

—お客さま動線の消毒の徹底

- ショールーム、展示車及び試乗車の消毒と換気の徹底
- マスク（必要に応じ、使い捨て手袋）の着用
- 予約来店による、ソーシャルディスタンスの徹底
- 商談に際して、電話及びメールの最大限の活用
- スタッフの健康状態の管理と把握



Jeep

